

「賀川豊彦のお宝発見」その3

新聞記事にみる賀川豊彦 (25)

1910 (明治43) 年~1963 (昭和38) 年 (神戸版)

第25回 「水平学校」「無産政党樹立」「独立政治協会」

「小諸に水平学校」

1926 (大正15) 年1月13日「神戸又新日報」

賀川氏等を顧問に
小諸に水平学校
 図書館をも併設する

長野縣に可なりの勢力を持つ水平社ではいよく同縣水平社本部を小諸町に工費一萬圓で建設する事に今春の新年會で執行委員朝倉重吉、高橋瀧川、松本市から小川静男氏を初めとし小縣南北佐久、上田市から代表者等が二十八名出席したのを機に決定した。併設図書館及び水平学校を併設し子弟の教育に努むべく第一に八間に十五間の二階建工事は來る六月起工、十月には竣工の豫定である、また本部の創設を機とし顧問に支部渡雄、田川大吉郎、賀川豊彦其他數氏を推薦し更に法律顧問としては布施辰治、山崎今朝彌外數氏を臨託することにしたといふので地元小諸警察署では急に神評なごがらし出した(小諸)

賀川氏等を顧問に

小諸に水平学校

図書館をも併設する

長野県に可なりの勢力を持つ水平社ではいよいよ同県水平社本部を小諸町に工費一万円で建設する事に今春の新年会で執行委員朝倉重吉、高橋滝而、松本市から小川静男氏を初めとし小県南北佐久、上田市から代表者等が二十八名出席したのを機に決定した、尚図書館及び水平学校を併設し子弟の教養に努むべく第一に八間に十五間の二階建工事は来る六月起工、十月には竣工の予定である、また本部の創設を機とし顧問に安部磯雄、田川大吉郎、賀川豊彦其の他数氏を推薦し更に法律顧問としては布施辰治、山崎今朝弥外数氏を囑託することにしたといふので地元小諸警察署では急に神経をとがらし出した（小諸）

知識階級を糾合して

無産政党樹立

安部、吉野、賀川氏等

お歴々が神戸三崎會館に會合
運動方法其他を評定

吾輩の實業を目前に控へて既成政黨の間に如る傾固の色ある一方、無産階級の間に於ても漸く焦燥の状ある今日、健全なる無産知識階級を中心とし、労働組合、農民組合其他の無産階級の思想なる作用として、非組織的運動者、自由運動者、

動入下級官吏、小商人其他一般知識階級の政治的動向に経済的權益を組織的運動としての一つの陣線を組織しようとする企てが
安部磯雄、吉野作造、賀川豊彦、馬場恒吾、高橋龜吉、下中健三郎、嶋中雄三

等の無産知識階級の人々の間に計畫されてゐたが、愈その具體的な組織を以て六月午後七時かに神戸三崎町三、三崎會館に開き、安部、磯雄、賀川、吉野、馬場、高橋、下中、嶋中、等、この團體の立場は大體、右翼社會主義で、機能は、政治教育を中心とし、社會政治の諸事案の調査研究を以て、更に消費者としての一般民衆の経済的權益を増進し生活の安定を得る爲めに互助組合、労働組合等を興す外適當なる經濟的施設の爲めに運動を進めようとするものである(東京電話)

知識階級を糾合して
無産政党樹立

安部、吉野、賀川氏等

お歴々が神田三崎会館に会合
運動方法其他を評定

普選の実施を目前に控へて既成政党の間に頗る煩悶の色ある一方、無産階級の側にも亦
稍礁燥の状ある今日、健全なる無産知識階級を中心とし、労働組合、農民組合其他の無産
団体の忠実なる伴侶として、非組織労働者、自由職業者、勤め人下級官吏、小商人其他一
般知識階級の政治的並に経済的研益を測る機関としての一つの団体を組織しようとする企
てが、安部磯雄、吉野作造、賀川豊彦、馬場恒吾、高橋亀吉、下中健三郎、嶋中雄三等の
無産知識階級の人々の間に計画されていたが、愈その具体的な創立準備委員会を六日午後
七時から神田三崎町三、三崎会館で開き、会名、規約、役員の銓衡決定を見た、この団体
の立場は大体、右翼社会主義で、機能は政治教育を中心に、社会政治の諸事情の調査研究
を行ひ、更に消費者としての一般民衆の経済的利益を増進し生活の安定を得る為に互助組
合、消費組合等を興す外適當なる経済的施設の為に運動を進めようとするものである（東
京電話）

左傾派に對立し

右傾派の新しい團體

安部磯雄氏や賀川さん達が

「獨立政治協會」を組織
將來は勞働黨の中堅

農民労働黨が帝座をあけてわづか
二時間ばかりの生命で禁止されて
から第二次無産政黨のお臍立を前
に左右兩派が入阻れて策動につこ
をつつけてゐるが、左傾派には政
治研究會があつて盛んに力痛を入
れてゐるので、體面中正ないはゆる
右傾派にもさうした政治教育の機

體が必要なので、先ごろから早大
教授安部磯雄、慶大教授堀江一
吉野作造の兩博士や、賀川豊彦、
馬場恒吉の諸氏、それに政治研究
會に絶縁した藤井、島中、高橋、片
山、宮崎、中澤の諸氏などが加は
つて政治研究會をつくる議が持
たり、すでに第一回の協議會を開

き續いて神田三崎町の三崎會館で
創立相談會を開いた結果その名も
「獨立政治協會」に決つて産聲を
あげた、この日の出席者は前記の
人々をはじめ十餘名の有志で、い

ろく協會の仕事を決めた、先づ
調査、教育、組織、事業、政治の
各部を置いて専ら政治教育運動に
力を盡す、なほ協會には廿名の
理事を置き、會員は各方から集
める計畫で理事長には安部磯雄氏
が推され、調査部長には高橋龜吉
政治部長には吉野博士、事業部長
には賀川豊彦組織部長には島中推
三の諸氏が選ばれる筈で事務所は
當分三崎會館内に置くことになつ
たなほ事業初めの仕事としては賀

川氏が先ごろ歐米で見て来た互助組合の運動を起すことになった、産聲をあげた独立政治協会はいふまでもなく政治研究会に對抗すべきもので将来無産政黨が生れた場合には有力な獨立労働黨となつて實際運動に進むことを豫想されてゐる。(東京電話)

(2011年4月3日記す。鳥飼慶陽)

左傾派に対立し

右傾派の新しい団体

安部磯雄氏や賀川さん達が

「独立政治協会」を組織

将来は労働党の中堅

農民労働党が産声をあげてわずか二時間ばかりの生命で禁止されてから第二次無産政党的なお膳立てを前に左右両派が入乱れて策戦ごっこをつづけているが、左傾派には政治研究会があつて盛んに力瘤ちからこぶを入れているので穩健中正ないはゆる右傾派にもさうした政治教育の団体が必要なので、先ごろから早大教授安部磯雄、慶大教授堀江帰一、吉野作造の両博士や、賀川豊彦、馬場恒吾つねごの諸氏、それに政治研究会と絶縁した藤井、島中、高橋、片山、宮崎、中澤の諸氏などが加はつて政治研究団体をつくる議が持上がり、すでに第一回の協議会を開き続いて神田三崎町の三崎会館で創立相談会を開いた結果その名も「独立政治協会」と銘打つて産声をあげた、この日の出席者は前記の人々をはじめ十余名の有志で、いろいろ協会の仕事を決めた、先づ調査、教育、組織、事業、政治の各部を置いて専ら政治教育運動に力を尽くすと、なほ協会には廿名の理事を置き、会員は各方面から集める計画

で理事長には安部磯雄氏が推され、調査部長には高橋亀吉、政治部長には吉野博士、事業部長には賀川豊彦、組織部長には島中雄三の諸氏が選ばれる筈で事務所は当分三崎会館内に置くことになった、なほ事業初めの仕事としては賀川氏が先ごろ欧米で見て来た互助組合の運動を起こすことになった、産声をあげた独立政治協会はいふまでもなく政治研究会に対抗すべきもので将来無産政党が生れた場合には有力な独立労働党となって実際運動に進むことを予想されている（東京電話）